

平成28年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	島田和輝
		全体計画				経費区分		-		内線	3646
事務事業名	4300 児童青少年育成センター事業										
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課										
施 策	02010800 児童・青少年健全育成の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100606 教育費・社会教育費・児童青少年総合対策費									
	事業	030000 児童青少年育成センター事業									
事業目的						事業概要・効果					
<p>育成委員を中心とする街頭巡視補導活動を通して児童・青少年が非行に走らないよう予防活動に努める。また、環境浄化活動の一環として、有害図書等自動販売機、酒類・たばこの販売方法等有害な環境のチェック活動と商店等へ改善をお願いをする。</p>						<p>街頭巡視補導活動による、子どもたちへ「愛の声かけ」を積極的に行い、登下校時等の子どもたちを見守るとともに、非行の未然防止に努める。 また、児童青少年育成委員会「善行賞」表彰を通じ、地域の子どもたちが取り組んでいる善い行い（活動）に対して大人がしっかりと褒めることで、子どもたちの活動意欲向上につなげる。</p>					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
<p>地域や学校から推薦された育成委員による街頭巡視活動、各種研修会を通じ、非行の未然防止を努めた。善行賞の選定及び表彰を行い、自己肯定感の高揚につなげた。</p>	<p>育成委員による街頭巡視活動、各種研修会 善行賞の選定及び表彰</p>
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	善行賞の表彰数						
算式						単位	件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標	2	2	2	2	2	
	実績						
指標選定の理由	前年と同数						
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		1,384	2,140
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,384	2,140
人員数(人)	正規職員	0.6	0.5
	嘱託職員	0.7	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,324.8	3,604.0
	嘱託職員	1,893.5	541.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	6,218.3	4,145.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		7,602.3	6,285.0

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,023	巡回出動謝礼
11節 需用費	80	消耗品52 食糧費27
13節 委託費	52	健全育成啓発看板整備委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	141	上部組織への負担金 60 活動補助金 81
その他	88	保険料66 旅費22

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,308	巡回出動謝礼
11節 需用費	202	消耗品費、会議食糧費
13節 委託費	54	健全育成啓発看板整備委託
15節 工事請負費	205	健全育成啓発看板照明設置
19節 負担金補助及び交付金	212	上部組織への負担金及び研修会出席負担金
その他	159	保険料 旅費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	法的に規定される活動ではない。 次世代を担う子どもたちの健全育成は地域の願いでもあり責任でもある。 活動を通じ、子どもたちや大人の関係も良くなり、住みやすい地域となる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	地域の住民による活動のため、「地域の子どもたちは地域で守り育てる」という意識の醸成につながっている。 「子どもを褒めて伸ばす」善行賞表彰は子どもの自己肯定感の高揚につながっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	一市民が地域のために活動することと、行政の要請とが相まって成り立っている事業である。 行政の都合で手を抜くことで、善意の市民の活動意欲を削ぐ結果となる。 行政は、事業の必要性と、市民や地域のために活動することの重要性を理解していただけるよう努めることが重要であり継続的な事業につながる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

かつてのような、街角に「不良少年」がタムロしていた姿は、今はあまりみることが少なくなっている。かわってネットに絡むトラブルが増えてきている現状から、今後の活動について、どんな活動が子どもたちの健全育成につながるのか考え工夫する必要がある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>市内全域での子どもたちの見守り活動は、この事業において他になく、子どもたちの非行の未然防止の力となっている</p> <p>また、「善行賞」表彰は、子どもたちの活動が認められることで、更なる意欲向上につながっている</p>		<p>街頭巡視補導活動による、子どもたちへの愛の声かけ運動は重要であり、今後も子どもたちを見守りや市内全域における非行の未然防止活動を継続して実施していく必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	